

【活動支援メニュー情報】

◎ 令和8年度（後期）「わが村運動活動助成」の実施

(NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク)

◎ 農山漁村の案内に役立つ「便利帳」(北海道農政部)

◎ 地域を応援するマンスリーレター (北海道経済部)

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

◎ 活動支援情報 (花と緑のネットワーク)

< 編集後記 >



【わが村運動情報】

◎ 広報誌「開発こうほう」8月号の掲載情報

(一財) 北海道開発協会が毎月発行している広報誌「開発こうほう」には、「わが村は美しく－北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号掲載され、8月号では第11回コンクールで奨励賞を受賞した「株式会社 滝上町和ハッカ・ラボ」(滝上町)が紹介されています。

広報誌「開発こうほう」は(一財)北海道開発協会のHPよりご覧いただけますので、「わが村は美しく－北海道 未来へつなぐ」のページをぜひご一読ください↓

<https://www.hkk.or.jp/kouhou/>

「株式会社 滝上町和ハッカ・ラボ」については、わが村HPでもご紹介しております↓

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/slo5pa0000019pd9-att/slo5pa0000019psl.pdf

今回は、積丹町で活動する『一般社団法人 積丹やん集小道推進協議会（旧積丹町美国鯉場遊歩道「やん集小道づくり」推進協議会）』（第5回コンクール参加団体）の「ニシン漁文化の保全を発端とした地域づくり活動」について、取材した内容を紹介します。

～積丹やん集小道推進協議会の活動～

かつて北海道有数の鯉漁場として栄えた積丹町美国。この地で『一般社団法人 積丹やん集小道推進協議会』は、積丹のニシン漁文化や歴史的景観を守りながら、観光や交流を生み出す地域づくり団体として活動しています。「地元住民や観光客にゆっくり安らいでほしい」、「歴史的建造物の価値や文化、地域の景観を次世代に残したい」といった思いで、「鯉伝習館ヤマシメ番屋（以下：番屋という）」と「ヤマシメ石蔵（以下：石蔵という）」の保全・維持・管理を平成20年から続けています。（ちなみに団体名の「やん集」は、ニシン漁で働く「若い衆（わかいしゅ）」が訛った「やん衆」に由来するそうです。）

活動開始当初、同様の建物は20軒ほどありましたが、そのほとんどが解体・売却され、姿を消しました。積丹町が保有する番屋「ヤマシメ福井邸（現：鯉伝習館ヤマシメ番屋）」（写真左）も例外ではなく、存続の危機を知った地元有志5人が町へ保存活動を提案し、了承を得たことで建物の保存活動が始まりました。代表の成田さんは当時を振り返り、「雨漏りしてぐしゃぐしゃに腐った畳をスコップで廃棄するなど、大変な修復作業であったと語ります。その甲斐あって、現在では一



<鯉伝習館ヤマシメ番屋>

般開放できるまでに修復が進み、保存するだ

けでなく、「活用する」ことで積丹町にまつわる歴史と文化の発信を続けています。



<ヤマシメ石蔵>

～人の交流の起点となる番屋の活用～

現在、番屋は、資料館やカフェ、イベントの場として5月上旬～10月上旬にかけて営業しています。カフェでは、積丹で捕れた魚介を使用したシーフードカレーや挽きたてのコーヒー、甘いデザートを楽しむことができます。中でも、名物は「岩のりのおにぎり」と「三平汁」といった郷土料理です。これらは、今は廃村になった集落「浜婦美（はまふみ）」で生まれ育



<鯨伝習館ヤマシメ番屋（カフェスペース）>

った 95 歳のおばあちゃんが、ニシン漁の全盛期に出稼ぎに来た漁師さんにふるまっていた食事を

再現したものです。一度、食してみたいと楽しみにしていましたが、伺った当日はなんとカフェの定休日！！・・・。次回積丹に訪れる時の楽しみにします。



また、番屋では毎月 24 日を「鯨（にしん）の日」として、ボランティアガイドを交えた懇談会を開催

するなど、かつてのニシン漁の暮らしや文化を伝えるイベントも行っています。地域のお年寄りがメンバーとなり、訪れた人に自身の体験や技術を付加価値としておこなう交流は唯一無二です。そして、建物を中心とした、魅力的で統一感のある景観は、「また来たい」と思わせる「人の交流」の起点となっているようにも思えました。

建物を出て番屋をつなぐ小道を歩いてみると、水中展望船乗り場がすぐそばにあり、平日にも関わらず多くの観光客で賑わっていました。積丹町は北海道で唯一、国定公園内に海中公園があり、



<小道にある案内板>

この水中展望船とタッグを組んで、待ち時間に番屋などの周辺施設を利用してもらう「観光と文化の連携」にも力を入れています。滞留場所が少なく、通過観光が多い積丹地域において、番屋は滞在促進のための貴重な交流拠点となっていました。



<水中展望船「ニューしゃこたん号」>

～「観光・文化・教育」が一体化する石蔵の活用～

続いて、石蔵をのぞいてみると、「風の谷のナウシカ」の「オーム」や「シン・ゴジラ」のキャラクターデザインで知られる、積丹町ゆかりの造形作家・竹谷隆之氏が撮影した写真が、まるでギャラリーのように美しく飾られていました。この石蔵は主に、関連団体が行う体験プログラム「海森学校」を中心に活用されており、手作りの教材を使いながら自然や地域資源を活かした教育活動が展開されています。



<海森学校の教材「海岸ずかん」>

「見る観光」から「体験する観光」へと変化する中で、この石蔵は、渚の生き物とふれあうことを授業の一環として取り入れており、地元の NPO や保存会の方々のご協力のもと、子どもから観光客まで楽しめる取組に活用されています。このような「観光・文化・教育」が一体化した地域内外の人の交流促進に石蔵が使われています。

～最後に～

積丹地域を取材してみて、手入れが行き届いた美しい「景観」と人が集まり関わることで生まれる「交流」との相互作用による数々の取組によって、地域の魅力を高めていることを知り、かつてアイヌの人々が「シャク・コタン（夏の集落）」と表した自然豊かな積丹半島のすばらしさを改めて実感しました。

近くに訪れた際にはぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

◆◇鯉伝習館ヤマシメ番屋◇◆◆

【施設所在地】 積丹町大字美国町字船濶 3 9 番地

【営業期間】 5 月～1 0 月上旬 ※定休日は火・水曜日

【営業時間】 9：00～16：00 ※入場無料

【お問合せ】 0135-44-2100

【Instagram】 <https://www.instagram.com/yamashime.shakotan/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/profile.php?id=100065263043423>



<竹谷隆之氏の撮影写真>

【わが村団体活動情報】

◎ゆりの郷こしみず「リリーパーク」が7月11日にオープンしました！（小清水町）

<わが村団体名：（有）シナジーこしみず>

毎年大勢の人が訪れる花の名所、ゆりの郷こしみず「リリーパーク」が今年は7月11日にオープンし、9月上旬まで開園されます。

13ヘクタールに及ぶ広大な丘陵地の園内には、色・形・香りもさまざまな「ゆり」が100品種・700万輪栽植され、7月中旬に咲くスカシ系早咲き品種から8月下旬のオリエンタル系遅咲き品種まで次々と色鮮やかに咲き競います。

園内には売店もあり、ゆり根を使用したソフトクリームは人気の一品となっているほか、ゆり鉢花・切花・新鮮野菜の販売も行っていますので、ぜひ一度お越しください！



【開園期間】 令和8年7月11日(土)～令和8年9月上旬

※開花状況及び天候等により変更有り

【開園場所】 ゆりの郷こしみずリリーパーク（斜里郡小清水町元町2丁目643番地2号）

【お問合せ】 TEL：0152-62-2903（（有）シナジーこしみず）

【HP】 <https://www.lilypark.info/>

※開園時間や入場料など、詳細はHPよりご確認ください。

◎～十勝の魅力をシュワっと凝縮！『十勝地サイダー』で地域を元気に！！～

『十勝地サイダー』誕生10周年記念事業で「オリジナル缶バッジ」作成！（十勝地域）

＜わが村団体名：十勝地サイダー研究会＞

十勝管内市町村の豊かな一次産業や特産品を原材料に活用し、商品の魅力とともに地域の魅力を広く発信する「十勝地サイダー研究会」では、地サイダーを通じた持続可能な地域おこしと観光振興に取り組んでいます。



平成27年の販売開始から10周年の記念事業として、帯広市の障害者就労移行支援事業所「ここから未来」の方々に協力いただき、地サイダーの瓶ラベル（各市町村の風景や特産品をデザイン）をあしらった「オリジナル缶バッジ」を制作しました！



その「オリジナル缶バッジ」のカプセルトイ（ガチャ）は、昨年の「道の駅おとふけ」に加え、先月から「とちか帯広空港」2階出発ロビーにも新たに設置しています。

道の駅や空港へお立ち寄りの際は、ぜひガチャで缶バッジをお楽しみください。



【設置場所】

- ・とかち帯広空港 2階出発ロビー（帯広市泉町西9線中18-2）
- ・道の駅おとふけ 直売所「なつぞら市場」（河東郡音更町なつぞら2番地）

【お問合せ】

0155-67-7771

一般社団法人 とかち地域活性支援機構（とかち機構）内
十勝地サイダー研究会 事務局

【公式HP】 <https://tokachisoda.com/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/tokachisoda/>

◎雄武高校の生徒が考案した商品を販売！ in 第48回おうむ産業観光まつり（雄武町）

<わが村団体名：合同会社びほろ笑顔プロジェクト>



合同会社びほろ笑顔プロジェクトは、「特産品開発プロジェクト」として商品開発に取り組む雄武高校の支援を行っており、生徒たちが開発した「カレー肉まん」、「ほたてせんべい」、「韃靼そばラーメン」を6月28日（日）開催の「おうむ産業観光まつり」で販売しました。

販売した「カレー肉まん」は、有機の牧草で育った雄武町産カラービーフの牛肉と美幌町産の野菜、雄武町のブルーグラスファームチーズが入っていて、会場に訪れていた多くの方から非常に美味しいとたいへん好評でした！

次回は、9月27日（日）開催の「雄武の宝うまいもんまつり」で雄武高校の生徒たちが開発した商品の販売を予定していますので、ぜひお立ち寄りください！





<合同会社 びほろ笑顔プロジェクト>

【場 所】〒092-0050 北海道網走郡美幌町字大通北1丁目13番地

【お問合せ】TEL：0152-73-0880

FAX：0152-73-0880

【U R L】<https://bihoroegao.com/>

◎『十勝ファーマーズマーケット』を開催します！！ ～「十勝の作物を十勝で食べる」～（帯広市）

<わが村団体名：十勝ファーマーズマーケット>

『十勝ファーマーズマーケット』は緑に囲まれた公園の中で、土曜日の朝に野菜を買い物することを、十勝・帯広の文化にしたいとの思いから2017年に始まり、今年も7月11日（土）を皮切りに全6回開催します！



現在は、農業大国十勝の生産者、料理人などが集い、十勝産の新鮮な野菜や加工品、十勝産食材を使用した飲食物、ハンドメイド雑貨などの様々なお店が軒を連ねます。

開催日ごとにお店が変わるため、訪れるたびに新しい出会いも楽しめます。

ご家族で、お友達と、もちろんおひとりでも♪
緑豊かな公園の心地よい雰囲気に包まれながら、
ちょっと特別な土曜日を過ごしに、ぜひお越しください！



【開催月日】 7月11日（土）、7月25日（土）
8月 1日（土）、8月22日（土）
9月 5日（土）、9月26日（土）

【開催時間】 9：00～14：00 ※小雨決行

【開催場所】 帯広市緑ヶ丘公園（帯広市緑ヶ丘2番地）

【お問合せ】 0155-34-1281（株式会社クナウパブリッシング）

【Facebook】 <https://www.facebook.com/tokachifarmersmarket>

【Instagram】 https://www.instagram.com/tokachi_farmers_market/

◎『麦感祭2026 in おとふけメロディーライン』を開催します！（音更町）

＜わが村団体名：麦感祭実行委員会＞

小麦生産日本一を誇る音更町で、今年収穫されたばかりの小麦をいち早く楽しめる収穫祭『麦感祭（ばっかんさい）2026』を開催します！

今年も、「音更メロディーライン」を舞台に、道の駅おとふけ、十勝音更三浦農場小麦畑及び道の駅



ガーデンスパ十勝川温泉の3ヶ所がイベント会場となります。

会場では、収穫されたばかりの「おとふけ一番小麦」を使用した、この日限りの特別メニューが登場するほか、小麦をテーマにしたグル

音更町の小麦に感謝し、その魅力を「見て・食べて・あったまって」楽しめる特別な一日。ご家族やご友人とお誘い合わせのうえ、ぜひお越しください！

【Instagram】 https://www.instagram.com/bakkansai_melodyline



◎『めむろファーマーズマーケット 愛菜屋』スイートコーン祭り開催！！（芽室町）

<わが村団体名：ＪＡめむろ（めむろファーマーズマーケット運営協議会）>

「十勝めむろ」の農産物を販売する直売所『愛菜屋』では、スイートコーン祭りを８月８日（土）に開催します。

「ゴールドラッシュ」「ミルキーシュガー」「ほしつぶコーン」など、その日の朝に町内で収穫された新鮮なスイートコーンを大鍋でゆで上げて販売します。採れたて、ゆでたてならではの甘さとみずみずしさをお楽しみいただけます♪

ゆでたてを味わいながら、お気に入りのスイートコーンを見つけてみませんか？



【開催日時】 ８月８日（土） １０：００～１２：００

（来場者数によって早めに開始する場合があります。）

【開催場所】 芽室町東めむろ３条南１丁目１番地

（競馬場通り沿い『郷の食産ひろば めむろみのり～む』敷地内）

【お問合せ（愛菜屋）】 ＴＥＬ：０１５５－６２－５３１５

【公式ＨＰ（愛菜屋）】 <https://www.ja-memuro.or.jp/farmers-market/>

◎「農高のおみせ」今年も開催！！（倶知安町）

<わが村団体名：北海道倶知安農業高等学校>

北海道倶知安農業高等学校では、同校で生産した農産物や加工品などを販売する「農高のおみせ」を毎年開催しています。



販売は生徒自らが対面で行う実習形式を導入しており、地域の方々との交流の場ともなっています。

地元の魅力と農高生の学びにふれられる人気のイベントです。

直近の開催は8月19日（水）です。お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。



※お越しの際は、商品を持ち帰るための買い物袋やカゴをご持参ください。

【開催場所】 倶知安町中小企業センター1Fホール（倶知安商工会議所 横）
（虻田郡倶知安町南2条西1丁目32）

【開催月日】 8月19日（水）、9月17日（木）、11月12日（木）

【開催時間】 14:00～15:00

【お問合せ】 電話 0136-22-1148（北海道倶知安農業高等学校）

【H P】 <http://www.kucchannougyou.hokkaido-c.ed.jp/setting/トップページ/お店開催情報>

◎第17回「歯舞こんぶ祭り」開催のお知らせ！（根室市）

<わが村団体名：歯舞地区マリンビジョン協議会>

8月30日（日）に、今年で17回目を迎える「歯舞こんぶまつり」を開催します。

会場では特設ブースでの昆布漁体験をはじめ、子供ビンゴ大会やステージショーなど、楽しいイベントが盛りだくさん！飲食コーナーでは、歯舞の特産品を素材に使用したメニューを取り揃えているほか、販売コーナーでは各種昆布製品などが購入できます。

当日は根室駅前バスターミナルから会場までの無料シャトルバスが運行されますので、みなさま是非会場へお越しください！



- 【開催日時】 令和8年8月30日(日) 10:00～14:00 (雨天決行)
- 【開催場所】 歯舞漁業協同組合 組合事務所ウラ (根室市歯舞4丁目132番地2)
※天候等により会場を中央市場内・屋根付岸壁に変更する場合があります。
- 【お問合せ】 TEL: 0153-28-2121 (歯舞こんぶ祭り実行委員会 (歯舞漁協内))
- 【関係HP】 <https://habomai-jf.jp/marinvision.html>
- 【Facebook】 https://www.facebook.com/mv.habomai/?locale=ja_JP
- 【Instagram】 https://www.instagram.com/habomai_gyokyo/

と き 令和8年8月30日(日) 雨天決行 午前10時～午後2時

と ころ 歯舞漁業協同組合 組合事務所ウラ (山側)
(天候等により会場を中央市場内・屋根付岸壁に変更する場合があります)

歯舞 第17回 こんぶ祭り

子供ビンゴ大会 (小学生以下限定)
楽しい景品がたくさん!!
Nintendo Switch2が当たる!?

無料 金堀内特産アワビ
縄文遺産体験しよう!

特別共演 竜徹日記

鳥羽一郎 12時～
海難遺児チャリティー
漁港(みなとまち)コンサート!

無料シャトルバス をご利用下さい

主催 歯舞地区マリンビジョン協議会
歯舞漁業協同組合・歯舞市漁業部会・歯舞漁業協同組合女性部
歯舞漁業協同組合青年部・歯舞水産物ブランド化推進協議会

問い合わせ先 歯舞こんぶ祭り実行委員会 (歯舞漁協内)
TEL 0153-28-2121

※イベント内容は折込チラシにて掲載いたします

HP Instagram facebook

【お知らせ】

◎「ディスカバー農山漁村（むら）の宝 AWARD」 第13回選定エントリー募集中！

（農林水産省農村振興局）

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向け、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信することを通じて他地域への横展開を図る取組です。

選定された地区には、選定証の授与を行うとともに、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」特設ホームページでの活動紹介等を通じて、全国的な情報発信を行います。

「わが村は美しくー北海道」運動の参加団体もこれまでに数多く選定され

ており、第12回では「特定非営利活動法人 ゆめみ〜」（登別市）が選定されています。

【募集期間】 令和8年6月15日（月）～令和8年8月31日（月）

【お問合せ】 農林水産省農村振興局農村政策部農村計画課農村政策推進室
TEL（代表）：03-3502-8111（内線5449）
ダイヤルイン：03-3502-6001

※ 応募方法など詳細は↓こちらよりご確認ください。

【HP】 <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/260615.html>

農林水産省では、農山漁村の資源を活用した地域の活性化に向けて取り組んでいる個人や団体を募集しています。ご応募いただいた中から特に優れた取組については選定証を授与するほか、特設Webサイトやイベントなどを通じて全国に広く発信していきます。キラリと光り輝く「あなたの村」の宝。を教えてください！

募集期間 令和8年6月15日（月）～8月31日（月）

農林水産省 農村振興局 農村政策部 農村計画課 農村活性化推進室
〒100-8950 東京都千代田区千代田1-2-1 電話（代表）：03-3502-8100

「ディスカバー農山漁村の宝」ホームページ
▶ <https://www.discovermurafakara.com> はこちら

過去の選定事例はこちら
▶ <https://www.discovermurafakara.com/sonoi/seitei-map.php>

応募はこちら

【活動支援メニュー】

○令和８年度（後期）「わが村運動活動助成」の実施

（NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク）

NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワークでは、北海道開発局と連携し「わが村は美しく－北海道」運動を推進しており、その参加団体の活動支援を行っています。

その活動支援の一つとして助成事業を実施しており、令和８年度（後期）の助成募集を開始する予定です。

助成事業の詳細については、当NPO法人のHPによりご確認ください。

「わが村は美しく－北海道」運動は地域で頑張る皆様に応援しています。

【助成募集期間（R8後期）】令和８年７月上旬～令和８年１２月末まで

【助成額】１団体当たり１件、１０万円を限度として選考により予算の範囲内で助成

【HP】 <http://wagamura-net.jp/>

○農山漁村の案内に役立つ「便利帳」（北海道農政部）

北海道農政部では、農山漁村において旅行者を受け入れる地域の活性化に資する取組を積極的に推進するため、案内等に当たっての留意点や参考となる情報を紹介する「便利帳」を作成しています。詳細は、北海道農政部HPをご覧ください。

【HP】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/benricyou.html>

○地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

北海道経済部にて毎月発行している「地域を応援するマンスリーレター」では地域の皆さんが活用できる支援メニューなどタイムリーな情報をお届けしています。詳細は、北海道経済部HPをご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/a0004/b0002/>

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

どさんこプラザ・テスト販売制度は、販路拡大・商品開発などに取り組む道内企業の方々に応援するための制度で、新商品を3ヶ月間「どさんこプラザ」で販売し、その過程で得られた情報をマーケティング活動に役立てていただくことを目的としています。

売上が好調な商品はさらに3か月継続して販売し、販売期間終了後には、店から商品の評判や評価などのアドバイスが受けられるほか、定番商品化へ移行のチャンスもあります。

【募集期間】（R8年度開催予定分 テスト販売期間：第3四半期（R8年10月～12月））

令和8年7月1日（水） ～ 令和8年8月10日（月）

【お問合せ】北海道経済部食関連産業局食産業振興課 マーケティング係

TEL 011-204-5766

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/103176.html>

○活動支援情報（花と緑のネットワークHP）

環境保全や地域づくり活動に活用できる助成・支援制度などの情報が掲載されていますので、ご参考まで↓

【H P】 https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/support/support_system/

< 編集後記 >

8月に入り、北海道もいよいよ夏本番を迎えました。各地からは個性豊かなイベントの便りが続々と届いています。お盆休みもありますので、この機会にちょっと足を延ばしてみたいものですね！

さて、皆さんの中にはお盆休みに帰省する方もいると思いますが、その移動手段は様々ですよ
ね。私は親族が道外にいることもあり、フェリーに乗る機会が多いのですが、水平線に沈む夕日
を窓越しに眺めながら飲むビールは最高です。また、海上は通信が途切れる時間が多いので
が、今の時代、あえて情報から隔絶された環境に身を置き、のんびりと過ごす自分だけの時間が
楽しかったりします。この夏、大海原を旅してみるのはいかがでしょうか？

発行：北海道開発局農業水産部農業振興課

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎14階

↓わが村HPはこちらからご覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html

↓Facebookでも情報配信しています。

<https://www.facebook.com/wagamura>

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！

本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。

配信希望・ご意見・ご感想はこちら hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp

(配信希望の方は、所属先(所在地)、氏名、メールアドレスを明記の上、こちらへ↑ご送付ください)

※一部ホームページではInternet Explorerに対応していないものがありますので、

Microsoft Edge等を使用して接続してください。

※写真の掲載にあたっては、事前に許可を得ております。
